

## 京西テクノス 株式会社

認定テーマ名：メーカーサポートの終了した電子計測器修理ビジネス

### 1. 認定事業の現況

#### 不況に強い優れたビジネスモデル

東京都多摩市に本社を置く京西テクノス株式会社は、リーマンショック後も年々売り上げを伸ばし、成長を続けている元気な企業である。

同社が取り組んでいる認定事業は、「メーカーサポート期限切れ」の電子計測器を中心とした電子機器全般をメーカーを問わず修理／再設計で延命を行うというもので、不況に強い優れたビジネスモデルと言える。

経済状況が厳しく、各社が新規投資を抑えているだけに、古い機器を修理して活用しようとする傾向が強くなっている。また今回の東日本大震災により故障した電子機器の修理ニーズが多く、多くの企業から寄せられており、これらの声にもタイムリーに応えられるように業務の拡大を進めている。

#### 事業推進体制の工夫と強化

認定事業のベースとなるものは、コア企業である同社の持つ電子機器の修理技術であり、修理ビジネスのポイントとなる交換部品の調達、各方面にパイプを持つ連携企業の（株）コムサーチが廃電子計測器からサルベージ部品の供給を担当し、ユーザーの修理情報収集は同じく連携企業の産業機器商社である（株）トーメンテクノソリューションズ（現（株）豊通マシナリー）の協力を得るという推進体制を構築。連携体の3社が各々の強みを持ち寄ることで、従来は無かったニッチな市場を開拓して新しいビジネスを展開することが可能となった。現在、同社では対応機種拡大、新規顧客開拓に向けて認定事業のPRを重視するとともに、連携体の協力体制を一層強化している。



多摩丘陵上にある京西テクノス（株）本社



テクニカルサポートセンター（24時間／365日）



CT（コンピューター診断装置）の修理

### 2. 今後の展望（見通し）

同社では、今後は“KLES”（KYOSAI LIFE EXTENSION SERVICE; クレス）とネーミングしたメーカーサポートの終了した電子機器の修理サービス／再設計のビジネスモデルのブランディ

ングをビジネス拡大と併せて推進している。

具体的には、既に汎用計測器では 4,000 機種を超える修理実績のほか、医療検査機器の修理や、電力会社（発電所）や鉄鋼プラント等の制御装置の修理／再設計などに発展しており、電子計測器、制御機器全般への拡大を図る計画である。

そのためにも、同社は本ビジネスを拡販する商社／販売会社との連携を深め、また認定事業の組織を強化し始めている。さらに同社は、海外進出した企業からの需要に応えるため、中国無錫、深圳に事業所を開設したり、英文ホームページの充実や海外での展示会等への出展を積極的に行ったりと、より多くの方に同社の取り組みを知って頂く努力をしている。

当面の目標は、本ビジネスにおける付加価値売上（材料費を除く）で年商 10 億円を早期に突破したいと考えている。

### 3. 認定を目指した経緯

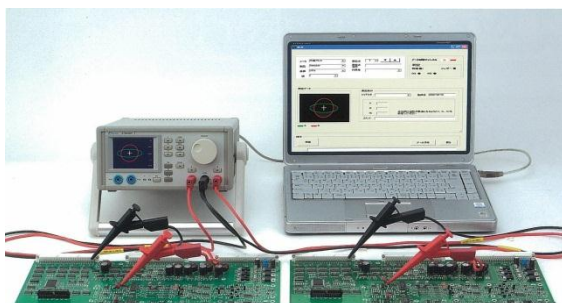
計測器メーカーは販売終了後、一定期間（通常 5～7 年）が経過するとサポートも打ち切るのが一般的である。一方、ユーザー側には、使い慣れた高価な電子機器をできる限り長く使いたいという事情がある。この両者のニーズを満たすのが同社の新事業であった。良い物を大事にして長く使いたいという、E C O の潮流とも合致した、不況にも強いビジネスである。

当初、このアイデアをテスト的に展開したところ、大手企業においても過去に導入した大規模システムに組み込まれた電子計測器の修理ニーズがある等、市場性が高いことが判明し、新連携制度を利用して本格展開することを決意した。

メーカーサポートの終了した電子機器修理サービス／再設計では、対象とするものが高価な高付加価値精密電子機器であるため、信頼できる専門サービス経済事業として新連携認定取得に挑戦したものである。

### 4. 利用した中小機構の支援策

同社ではこれまでに補助金ならびに政府系金融機関の低利融資を利用して、部品の不具合／故障箇所を検出する部品良否判定装置「Attacker I」の開発とそれに続く「Signar I」の開発を行っている。この装置は誰でも簡単に基板に搭載された部品の故障箇所を識別できるため、重要なツールとして活用されている。



部品良否判定ツール「Attacker I」  
(非通電で実装基板などの故障診断が可能)



部品良否判定ツール「Signar I」  
(通電状態で IC などの動作不良を診断)

中小機構の支援策については、新連携事業展示会における PM がコメントータを務めたワー

クショップでの発表PRや中小機構の国際化支援の活用、このサービス事業を活用できそうな認定企業の紹介、そして、本社工場の全面移転についてのアドバイスなど、複数の支援策を活用している。

また、同社のビジネスモデルは、その存在を知って頂いた方々の人数に比例して、新規案件が増えるので、刊行物への新規事業関連記事の掲載や展示会出展などでの広報活動を重視している。特にユーザーと直接対話ができる展示会でのPR効果は大きく、支援策を利用して、昨年、一昨年のインターネプコンジャパンなどに積極的に出展している。

## 5. 企業概要

事業者名・代表者名	京西テクノス 株式会社 代表取締役社長 臼井 努		
本社所在地	東京都多摩市愛宕4-25-2		
ホームページアドレス	<a href="http://www.kyosaitec.co.jp">http://www.kyosaitec.co.jp</a>		
設立年月	1946年6月（グループ創業）		
資本金	40百万円	従業員数	300名
売上高	4,000百万円（平成23年9月末グループ連結） 内認定事業の売上高758百万円（平成23年12月までの累計）		

現経営者は大学卒業後取引先の大企業に勤務し、平成10年に祖父が創業した現企業に入社、6年後に社長就任した以降の経営には目覚ましいものがあり、新連携認定取得後、現在地に本社の全面移転を図ったほか、「多摩ブルーグリーン賞・経営部門」最優秀賞（平成18年12月）、東京商工会議所「勇気ある経営大賞」優秀賞（平成19年10月）、東京都信用金庫協会「優良企業表彰」東京商工会議所会頭賞（平成20年3月）、「東京都ベンチャー技術大賞」奨励賞（平成20年11月）、日本生産性本部「ハイサービス日本300選」選定（平成22年3月）第28回優秀経営者顕彰「日刊工業新聞社賞」（平成23年1月）など数々の表彰を受けている。現在、多摩産業人クラブ（日刊工業新聞社主催）初代会長。



## 6. 認定事業の概要

テーマ名	メーカーサポートの終了した電子計測器修理ビジネス
テーマの概要	コア企業の持つ電子計測器修理技術をベースに、メーカーのサポート期限が終了した電子計測器の修理ビジネスをメーカーを問わずに行うもの。
認定期間	平成18年10月27日～平成23年10月26日